

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱自動車工業株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 108-8410 東京都港区芝浦三丁目1番21号	
本票作成	部署名：水島製作所 工務部 動力環境グループ					
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業			
事業の概要	自動車製造業 生産台数 263,450台（令和6年度）、従業員数 3,203人（令和7年7月1日時点）					
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地	
	①	水島製作所			倉敷市水島海岸通一丁目1番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)					

温室効果ガス排出量	基準年度（令和5年度）		(令和6)年度排出量	目標年度（令和6年度）
	67,750 t CO <sub>2</sub>		65,930 t CO <sub>2</sub>	75,811 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和6)年度排出量
	①	水島製作所		65,930 t CO <sub>2</sub>
				t CO <sub>2</sub>
				t CO <sub>2</sub>
				t CO <sub>2</sub>
				t CO <sub>2</sub>
				t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和6年度（1箇年度）			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.6 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 令和5年度温室効果ガスを新係数で算出し置き換え 温室効果ガス排出量 指標(生産台数) 原単位令和5年度 67,750tCO <sub>2</sub> 266,482台 254kgCO <sub>2</sub> /台【目標原単位】254kgCO <sub>2</sub> /台×0.99=251.5kgCO <sub>2</sub> /台	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		254 kg CO <sub>2</sub> /(台)	250 kg CO <sub>2</sub> /(台)	251.5 kg CO <sub>2</sub> /(台)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

電気事業者から購入する買電の一部にCO<sub>2</sub>フリーメニューを採用し、電気のCO<sub>2</sub>排出量をオフセットした。  
(▲5,028 t -CO<sub>2</sub>年)

### 【推進体制】

代表執行役社長－環境管理責任者(環境担当役員)－ 水島製作所長－各部長－各課長－推進者  
－ 各製作所長

### 【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製作所	<p>【令和 6 年度実施分】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・塗装工場の照明（1,162灯）を蛍光灯からLED照明に更新した。</li><li>・エンジン工場の照明（562灯）を蛍光灯からLED照明に更新した。</li><li>・エアカーテン（※）2台の熱源を都市ガスから電気に変更しCO<sub>2</sub>排出量を削減した。</li></ul> <p>※エアカーテンは、ガスバーナーで温めた暖気で冬場の外からの冷気を遮断する防寒対策の空調機。部品運搬車の出入りで工場扉の開け閉めが頻繁にあり、開口時には冷気が入るため寒い</p> <p>【令和 7 年度の計画】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産数が減少し効率が悪化しているミッショングラインを縮小化しエネルギーを改善する。</li><li>・研削盤液処理装置は大きく大型ポンプを稼働させておりエネルギーが大きかったため、必要量に合わせ小型化することでエネルギーを改善する。</li></ul>

### 【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	2023年3月に愛知県岡崎市と「森林保全活動連携協定」を締結し、岡崎市額田地区の森林（約50ヘクタール）を『岡崎アウトランダーの森』と命名して、植林、下草刈り、間伐、枝打ち等の整備に取り組んだ。

### 【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	エネルギーソリューションサービスの一環で、京都製作所の工場屋根を設置場所として提供し太陽光発電設備（200kW）を設置した。（2025年2月稼働開始）

### 【その他特記事項】

- エネルギーソリューションサービスの一環で、水島製作所において塗装工場屋根を設置場所として提供し大規模太陽光発電設備（約1MW）を設置した。（2024年2月稼働開始）